



藤石 豊 議長

### 天下分け目の決戦!

今年は、天候不順の冷夏が予想されています。天変地異による自然環境への影響は、私たちの身近なところまで来ています。7月末の集中豪雨で被災された方々には、衷心よりお見舞いを申し上げます。

さて、夏の到来とともに祭りの季節を告げる、須恵町重要文化財指定の上須恵祇園山笠の余韻も

残る中、それぞれの行政区やコミュニティで、まつり絵巻が繰り広げられる事と思われまふ。地域の歴史や伝統・文化・芸能を守り継承して、町づくりに活かしていきたいものです。

### 傍聴者に感謝

6月定例会議は、11日から18日まで8日間の日程で行われ、上程議案のすべてが可決されました。特に一般会計及び特別会計での補正予算については、議員全員による予算審査特別委員会での慎重審議致しました。また、一般質問は傍聴者40名以上と多くの住民の方々に来ていただきました。

しかし、質問者が3名とちよつと寂しい結果となりましたが、町長に対して町づくりや、町政を問う活発な質疑が展開されました。いつも傍聴して下さい

区長会や老人クラブ、商工会、更生保護女性会等の住民の皆様へ感謝申し上げますとともに、議会に対する期待と関心の深さを感じました。議員の権利と議会活動の一環でもある、一般質問の考え方や今後の議会改革のあり方に、影響と刺激・奮起を促していた

いただきました。しっかりと受け止め努力邁進していきたいと思えます。民意なくして国政なし

### 民意なくして国政なし

いよいよ、衆議院が7月21日解散し、総選挙の日程が8月18日公示、30日投票で決定しました。自民・民主の二大政党を軸とし、各党が激戦を繰り広げる歴史的政権選択選挙、まさに天下分け目の決戦、国の行く末を左右する過去に例のない重大な選挙になることは間違いありません。

私たちが、国民の目線で、それぞれの政党政策を十分に理解し、その権利を行使しなければなりません。今、国も地方も大きな改革を余儀なくされています。須恵町議会も潮流に流されることなく、議員の資質向上と議会の活性化に向けて更なる研鑽を重ね、信頼される議会を目指し全力で取組みたいと思います。今後須恵町議会に対するご理解・ご指導をお願い申し上げます。



雨の中で行われた「上須恵祇園山笠」

## 町長報告

### 消防広域化 検討委員会を発足

消防は、災害や事故の多様化および大規模化、住民ニーズの多様化などの消防を取り巻く環境の変化に的確に対応し、住民の生命・財産を守る責務を果たしていく必要があります。しかしながら、小規模な消防本部においては出

動態勢、保有する消防車両、専門要員の確保などに限界があり財政運営面での厳しさも指摘されています。これらを克服するためには、常備消防の規模を拡大することで行財政上のスケールメリットを活かし、消防体制の整備お



中嶋 裕史 町長

よび充実強化を図ることが必要であるとの要請から、平成18年6月に「消防組織法」の一部が改正され、同年7月に「消防広域化に関する基本指針」が示されました。このような状況を踏まえ、このたび粕屋南部消防組合・粕屋北部消防組合の構成団体である粕屋地区1市7町に、宗像市・福津市を加えた3市7町で消防広域化に向けた調整協議を進めていくことを5月7日に確認し、3市7町の首長をメンバーとする「消防広域化検討委員会」が発足しました。今後この検討委員会では、各消防本部の現状の把握、消防広域化のメリット・デメリットについて、効率的な消防サービスの提供などについて協議を行った上で平成22年1月を目途に基本的なことについて結論を出す予定になっています。

## 教育行政報告

### 「心の教育」と定め邁進する

今、教育を取り巻く環境は、戦後をはじめた教育基本法の改正などにより、社会教育・学校教育とともに大きな変動期を迎えています。

その基本とするものとして、「感動する心の教育」「感謝する心の教育」「共感できる心の教育」の3つの柱を掲げ、これらを実現するために、5年10年先を視野に入れた教育振興基本計画を策定しました。



平松 秀一 教育長

この教育基本法の教育とは、人格の完成を目指し、個性を尊重しつつ、個人の能力を伸ばし、自立した人間を育て、幸福な生涯を実現する上で必要不可欠なものであると定義しています。須恵町においては、本

年度以降の教育施策を、心の教育」と定め、全町あげて道徳・人権教育を実践し、特に青少年の心身の健全育成を目指します。

習の早期実現に向けて、0歳～義務教育終了までを生涯学習の第一ステージと捉え、知育・徳育・体育・食育の向上を図るために、家庭・地域・学校・行政等が一体となり、積極的な支援を行っていく事業です。本町の教育行政は、社会教育を基盤に据え、コミュニティを核とした生涯学習の町づくりの早期実現を図るために、教育委員会として何ができるかを常に念頭に置きながら、推進していきたいと考えています。